

## 2. 十日町市の状況

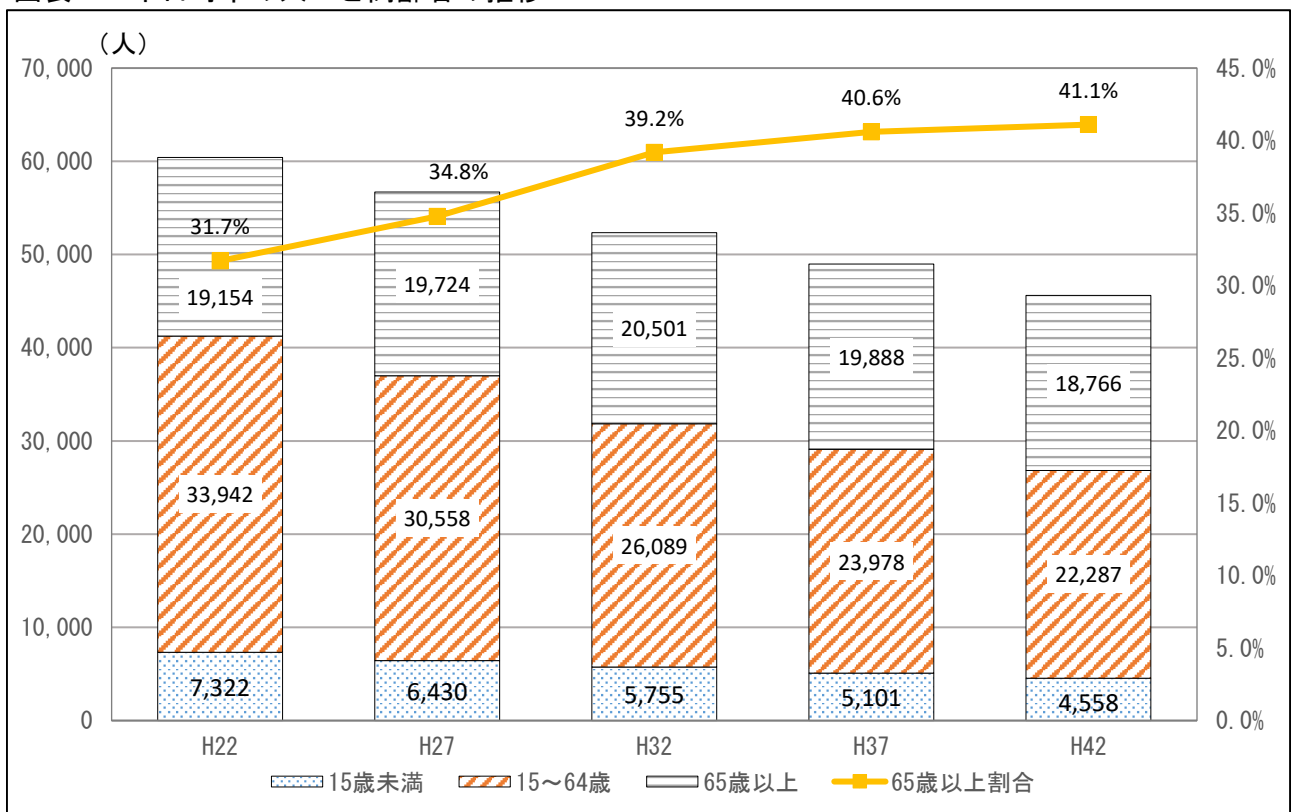
### (1) 人口

図表4 国・県・同規模平均と比べた人口構成(平成29年4月1日現在推計)

項目	十日町市		新潟県		国			
	実数	割合	実数	割合	実数	割合		
人口構成	総人口①		53,230人		2,270,264人		12,679万人	
	[再掲]							
	39歳以下	15,887人	29.8%	808,736人	35.6%	4,946万人	39.0%	
	40～64歳	17,316人	32.5%	749,559人	33.0%	4,242万人	33.5%	
	65～74歳②	8,776人	16.5%	334,155人	14.7%	1,764万人	13.9%	
	75歳以上③	11,251人	21.1%	377,814人	16.6%	1,728万人	13.6%	
	65歳以上割合 (②+③)／①	20,027人	37.6%	711,969人	31.4%	3,492万人	27.5%	

新潟県推計人口・総務省統計局4月報

図表5 十日町市の人口と高齢者の推移



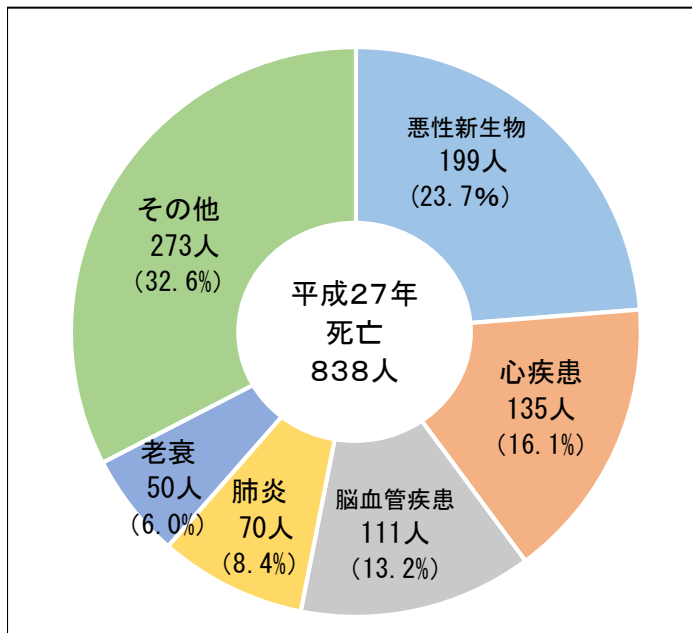
～平成27年：住民基本台帳人口

平成32年～：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

- 図表4の十日町市の推計人口に占める65歳以上の割合は37.6%であり、国（27.5%）や県（31.4%）と比べると高い。
- 図表5の人口推計から十日町市の人口は減少し、少子高齢化がさらに進むと予想される。

(2) 死亡の状況

図表6 十日町市の死亡数と割合 (平成27年)



- 1位 悪性新生物 199人 (23.7%)
- 2位 心疾患 135人 (16.1%)
- 3位 脳血管疾患 111人 (13.2%)
- 4位 肺炎 70人 (8.4%)
- 5位 老衰 50人 (6.0%)

平成28年 福祉保健年報

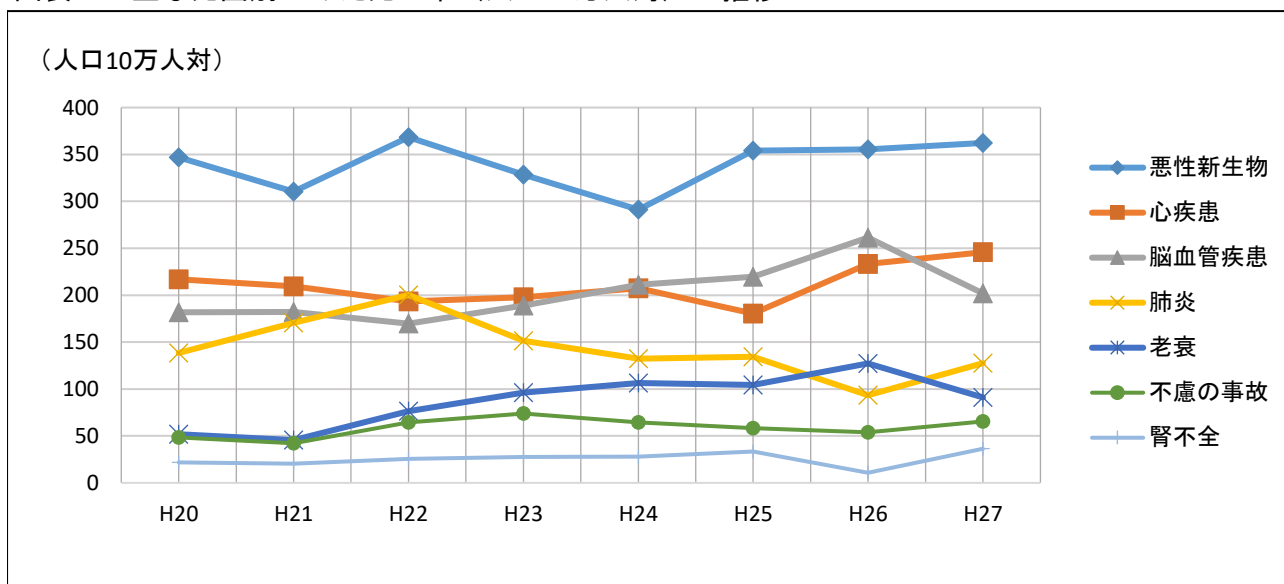
図表7 十日町市の主要死因構成割合 (平成27年)

	十日町市		新潟県		国	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
1位	悪性新生物	362.4	悪性新生物	339.5	悪性新生物	295.2
2位	心疾患	245.8	心疾患	175.5	心疾患	156.3
3位	脳血管疾患	202.1	脳血管疾患	136.3	脳血管疾患	96.4
4位	肺炎	127.5	肺炎	105.8	肺炎	89.2
5位	老衰	91.0	老衰	102.3	老衰	67.6

※死亡率は人口10万対の割合

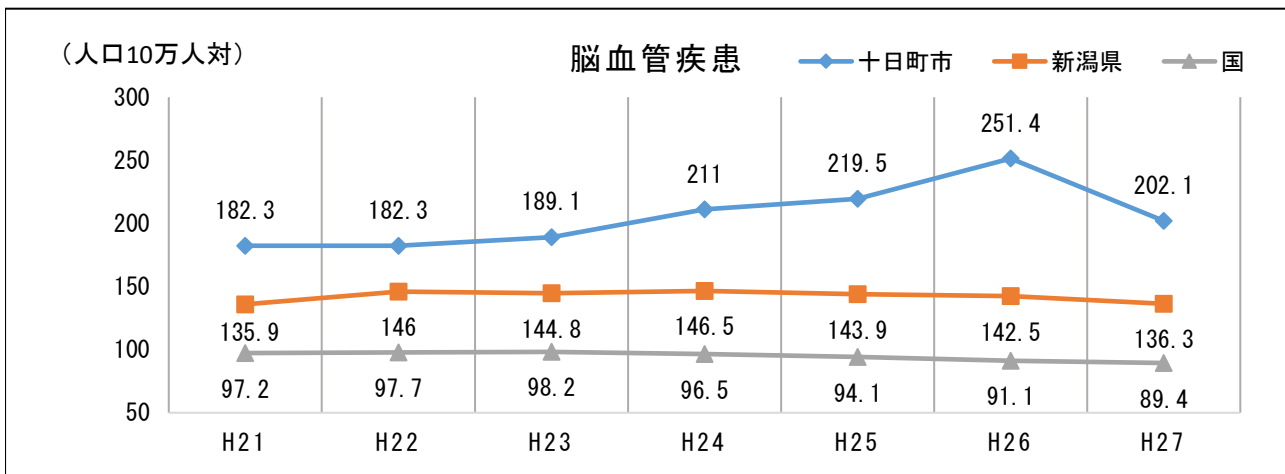
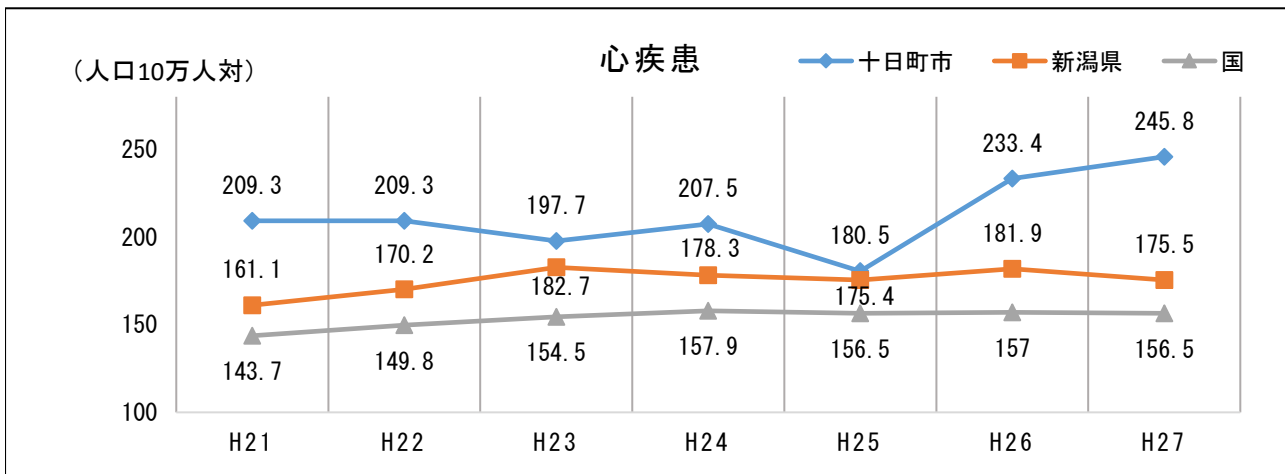
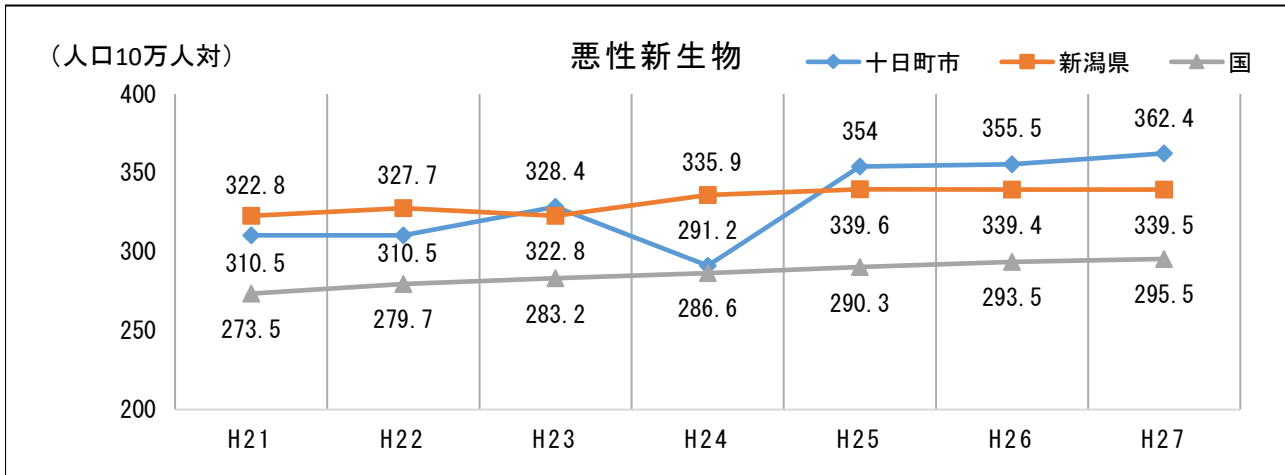
平成28年 福祉保健年報

図表8 主な死因別にみた死亡率 (人口10万人対) の推移



人口動態統計の概要

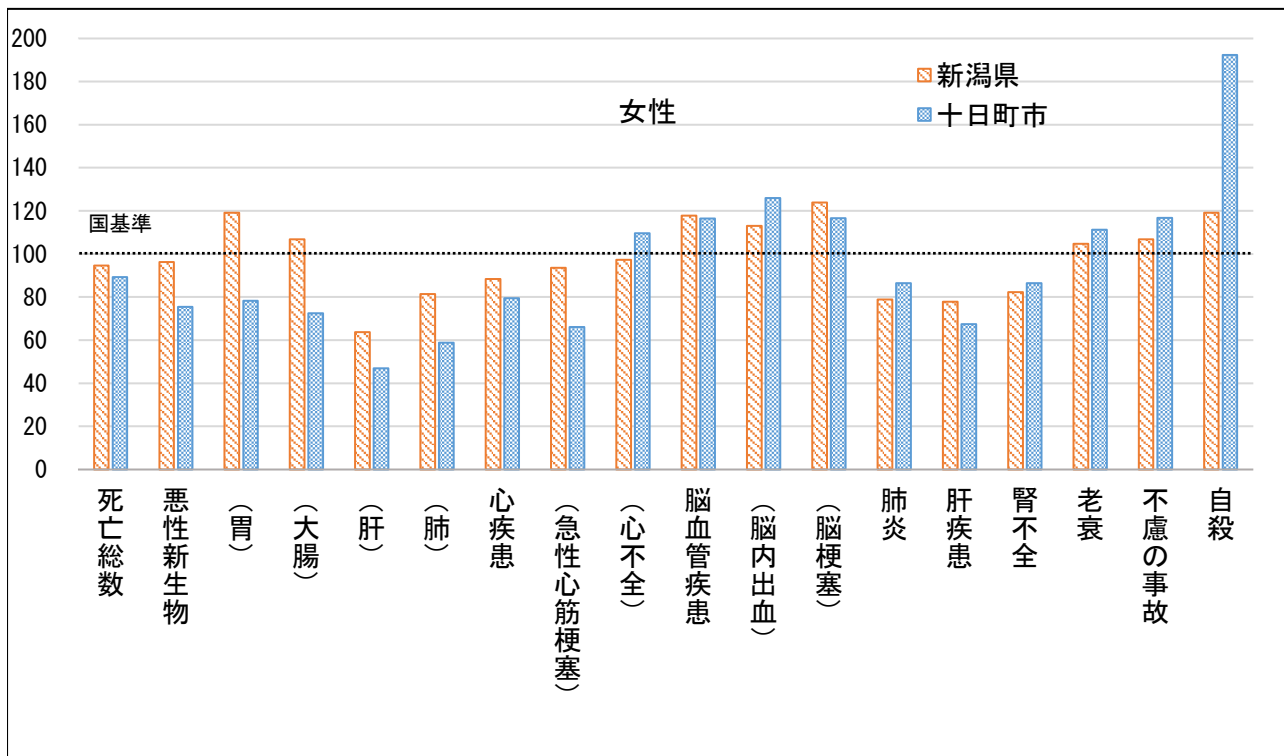
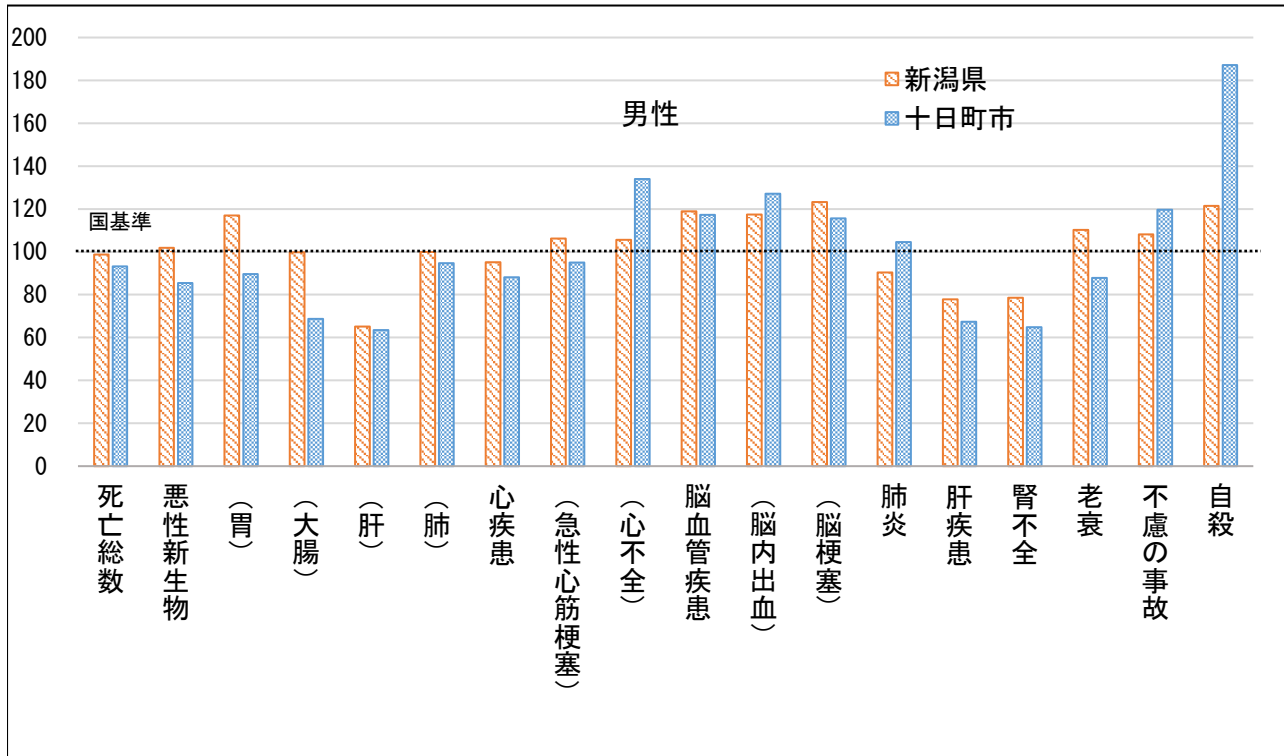
図表9 主要死因別死亡率の推移



平成28年 福祉保健年報

- 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患ともに死亡率が全国・県より高い。
- 心疾患の死亡率が大きく増加した。
- 脳血管疾患の死亡率が大きく減少した。

図表10 標準化死亡比\*（平成20年～24年）の比較

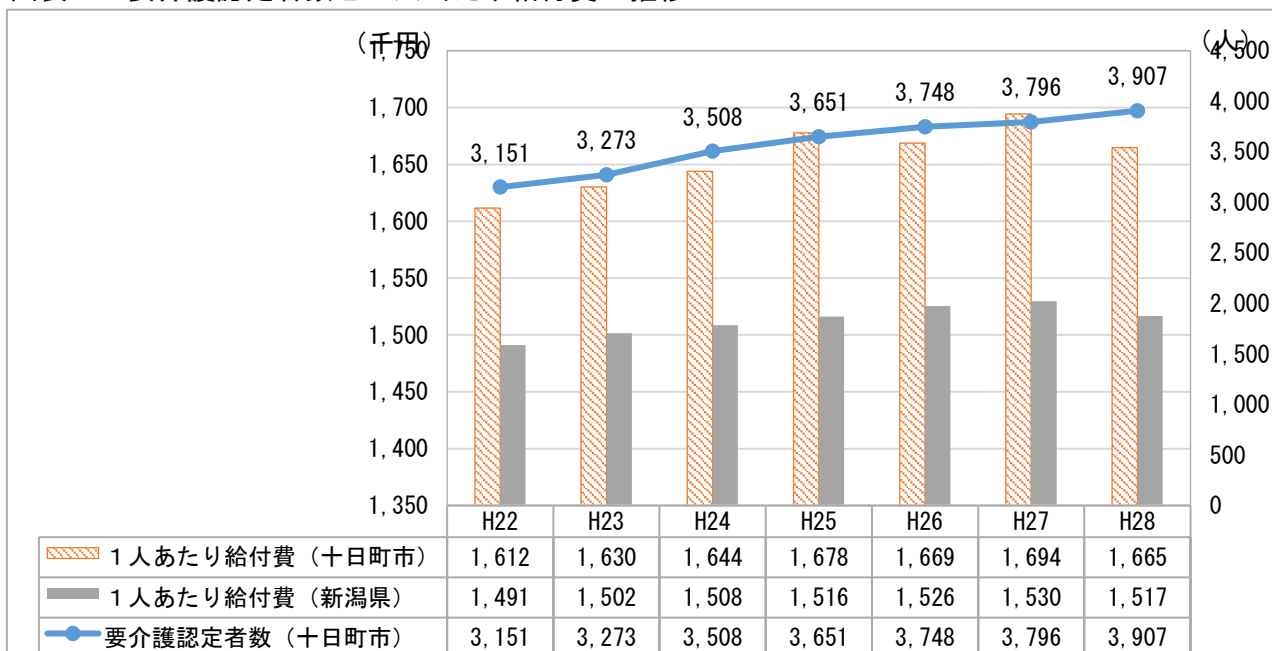


- 男性は国・県に比べ「自殺」「不慮の事故」「脳血管疾患」「肺炎」「(心不全)」が高い。
- 女性は国・県に比べ「自殺」「脳血管疾患」「不慮の事故」「老衰」「(心不全)」が高い。

\*標準化死亡比(SMR)は、国を100として年齢構成の差異を基準の死亡率で調整した値

### (3) 介護の状況

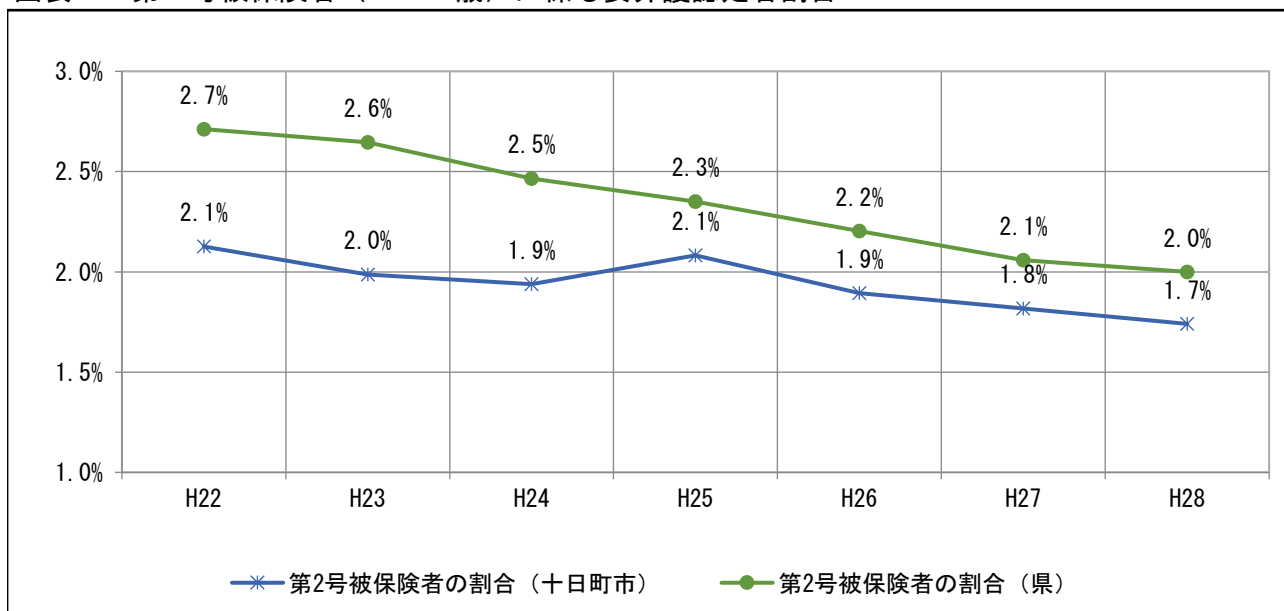
図表11 要介護認定者数と一人当たり給付費の推移



十日町市：平成28年度 主要な施策の成果報告書 県：平成28年度 介護保険事業状況報告

- 十日町市の要介護認定者数は年々増加している。
- 1人あたり給付費は、十日町市も県もほぼ横ばいである

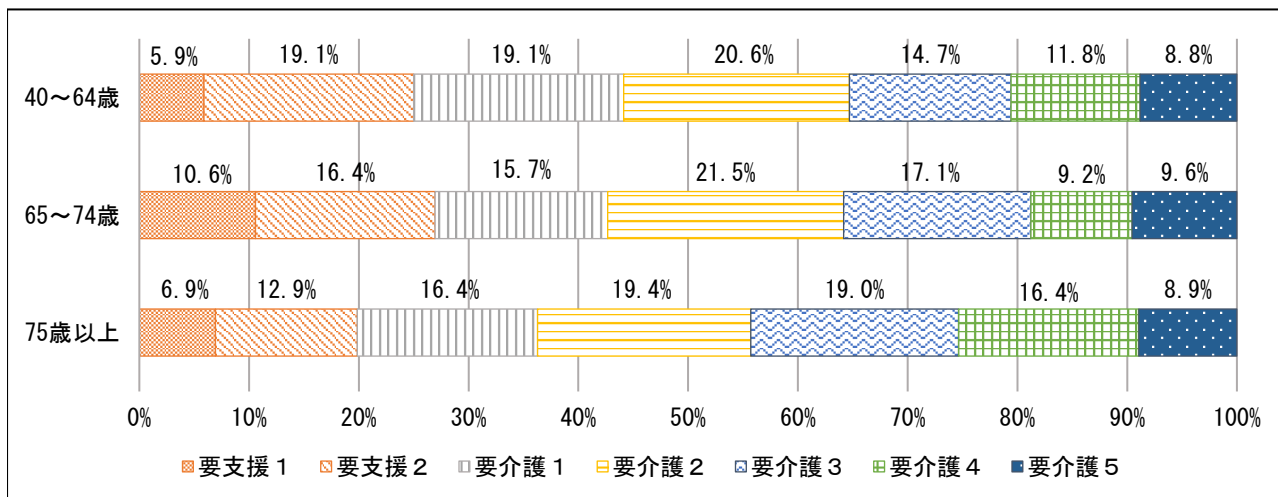
図表12 第2号被保険者（40～64歳）に係る要介護認定者割合



十日町市：平成28年度 主要な施策の成果報告書 県：平成28年度 介護保険事業状況報告

- 第2号被保険者割合は2.0%前後で推移しており、県を下回っている。

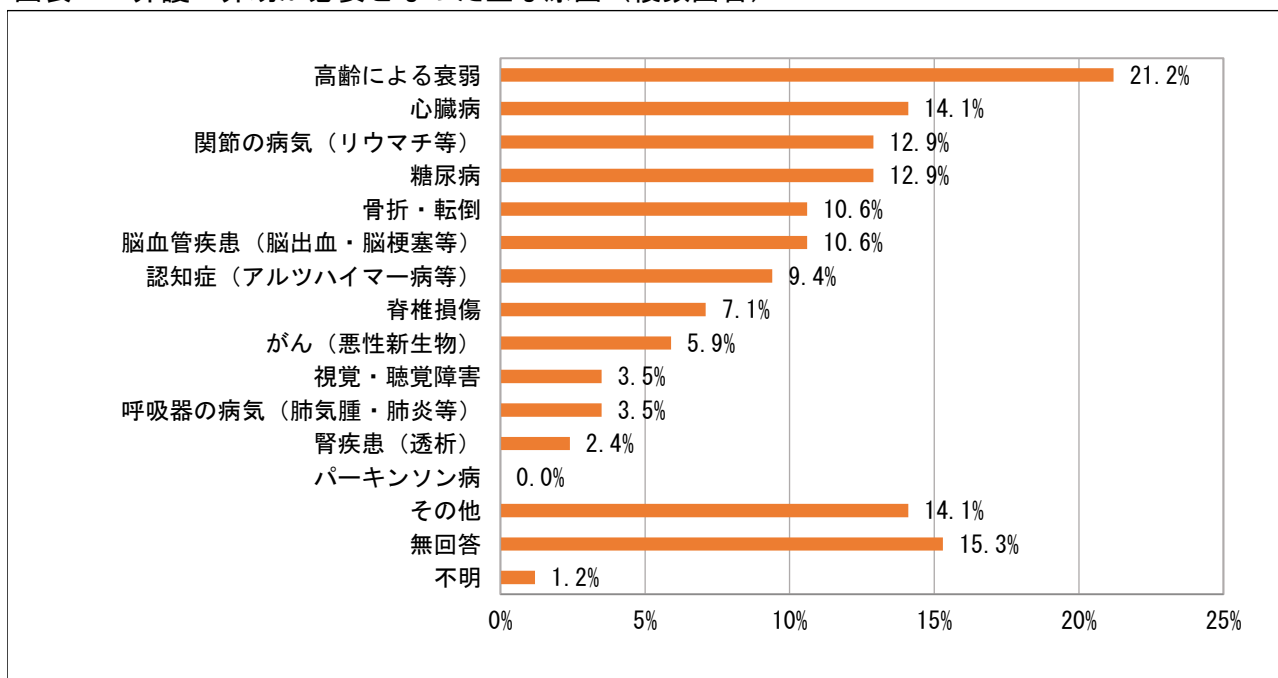
図表13 要介護認定者の割合



平成28年度 主要な施策の成果報告書

●年齢とともに要介護3以上の割合が多くなる傾向にある。

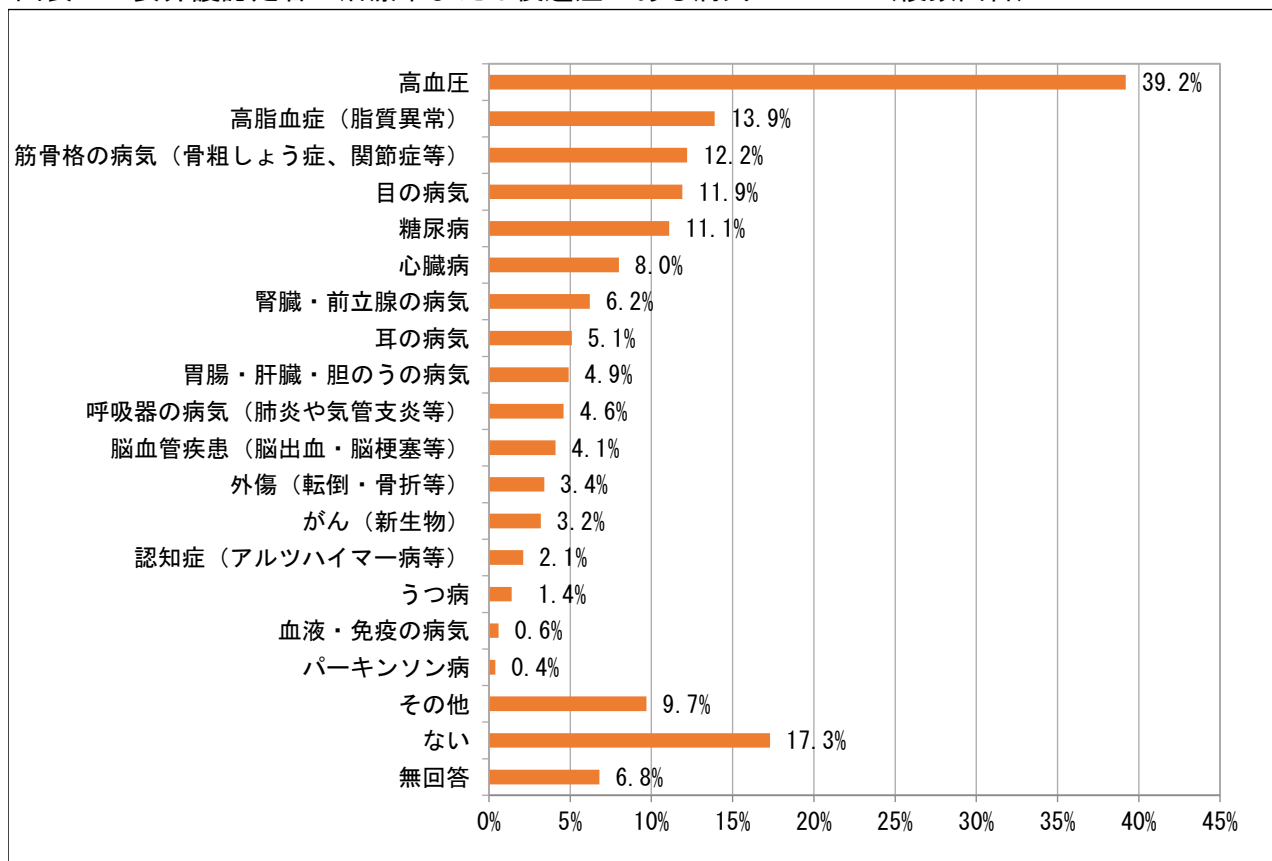
図表14 介護・介助が必要となった主な原因（複数回答）



第7期介護保険事業計画

●介護・介助が必要となった主な原因については、「高齢による衰弱」が21.2%と最も多く、次いで「心臓病」が14.1%、「関節の病気（リウマチ）」が12.9%、「糖尿病」が12.9%である。

図表15 要介護認定者の治療中または後遺症のある病気について（複数回答）



第7期介護保険事業計画

●治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が39.2%と最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」13.9%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」12.2%である。

(4) 更生医療受給者（人工透析）の状況

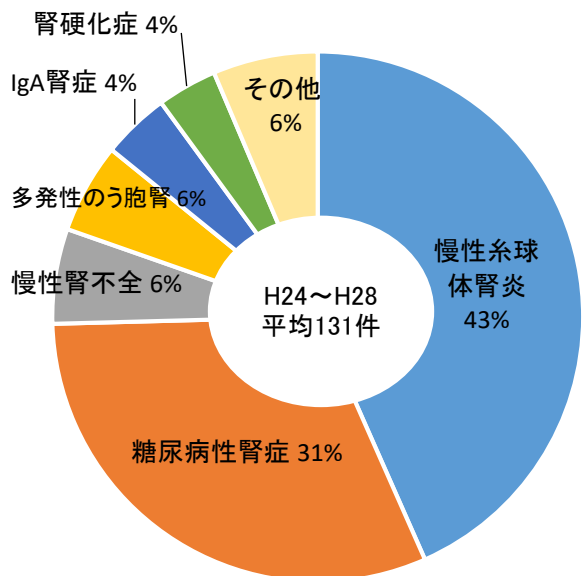
図表16 受給者総数

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成24～28年度		
	件数	件数	件数	件数	件数	合計	平均	割合
受給者総数（実数）	129	128	133	132	135	657	131.4	100.0
慢性糸球体腎炎	55	57	59	58	56	285	57	43.4
糖尿病性腎症	39	41	43	39	43	205	41	31.2
慢性腎不全	6	6	7	8	11	38	7.6	5.8
多発性のう胞腎	7	7	7	8	7	36	7.2	5.5
IgA腎症	5	5	5	6	6	27	5.4	4.1
腎硬化症	4	4	5	5	6	24	4.8	3.7
ANCA関連腎炎	2	2	1	1	1	7	1.4	1.1
のう胞腎	1	1	1	1	1	5	1	0.8
逆流性腎症	1	1	1	1	1	5	1	0.8
糸球体硬化症	-	-	-	-	-	-	-	-
慢性腎盂炎	1	1	1	1	1	5	1	0.8
アミロイド腎	1	1	1	1	-	4	0.8	0.6
その他	1	1	1	2	2	7	1.4	1.1
不明	6	1	1	1	-	9	1.8	1.4

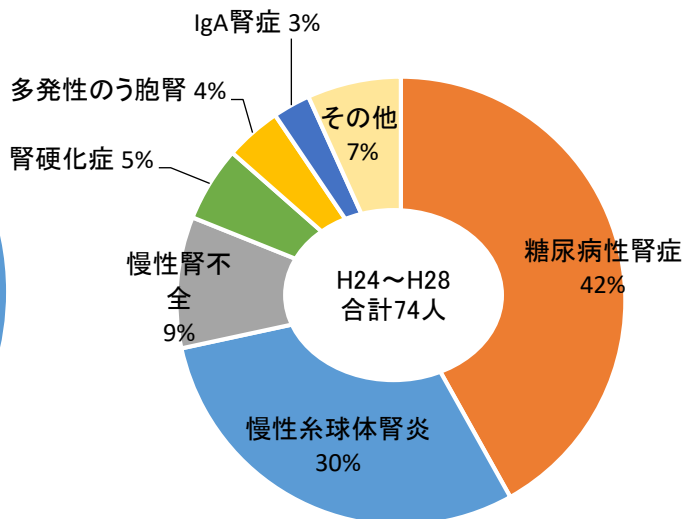
図表17 受給者総数のうち新規受給者数

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成24～28年度		
	件数	件数	件数	件数	件数	合計	平均	割合
新規受給者数（実数）	23	9	13	14	15	74	14.8	100.0
〔再掲〕国保加入者	-	-	(6)	(5)	(5)	-	-	-
糖尿病性腎症	9	4	5	5	8	31	6.2	41.9
慢性糸球体腎炎	6	5	5	4	2	22	4.4	29.7
慢性腎不全	3	-	-	1	3	7	1.4	9.5
腎硬化症	-	-	2	1	1	4	0.8	5.4
多発性のう胞腎	2	-	-	1	-	3	0.6	4.1
IgA腎症	1	-	-	1	-	2	0.4	2.7
ANCA関連腎炎	1	-	-	-	-	1	0.2	1.4
のう胞腎	-	-	-	-	-	-	-	-
アミロイド腎	-	-	-	-	-	-	-	-
逆流性腎症	-	-	-	-	-	-	-	-
糸球体硬化症	-	-	-	-	-	-	-	-
慢性腎盂炎	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	1	1	3	0.6	4.1
不明	-	-	1	-	-	1	0.2	1.4

●総受給者では、慢性糸球体腎炎、糖尿病性腎症の順に割合が高くなっているが、新規受給者では、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎の順に割合が高くなっている。



受給者総数



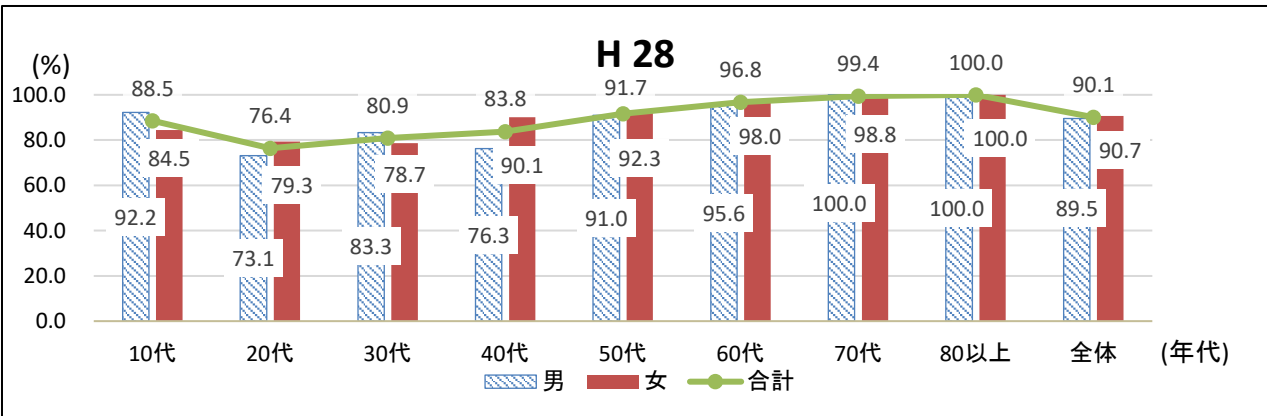
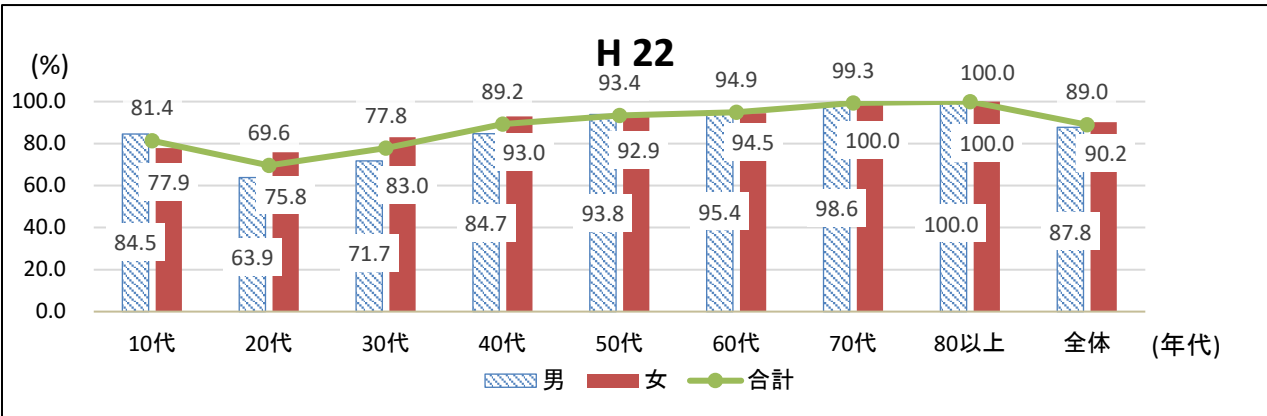
うち新規受給者数



(5) 健康とおかまち21のアンケート結果の状況 (平成28年度)

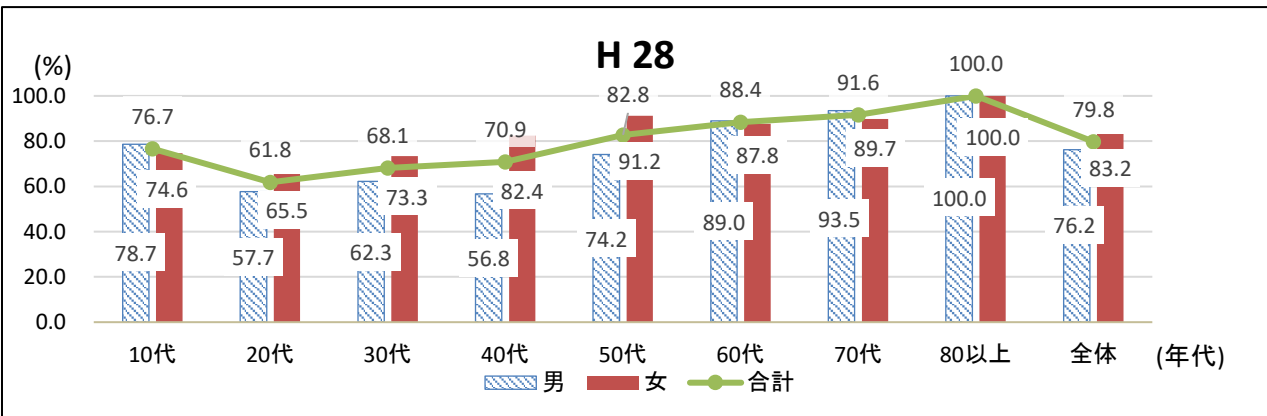
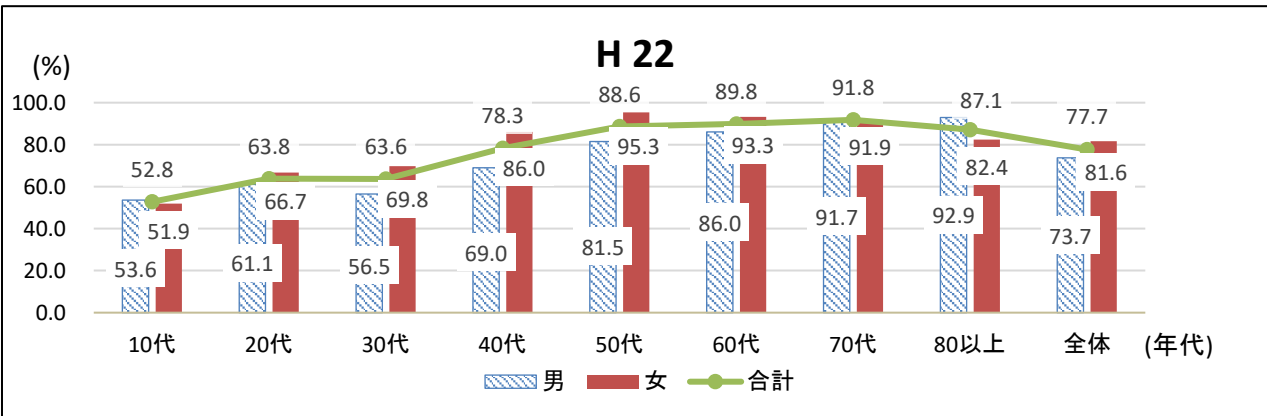
平成22年度 調査数1,056名 有効回答数1,018名 (男性496名、女性522名)  
 平成28年度 調査数1,104名 有効回答数1,038名 (男性503名、女性535名)

図表18 朝ごはんを毎日食べる人の割合



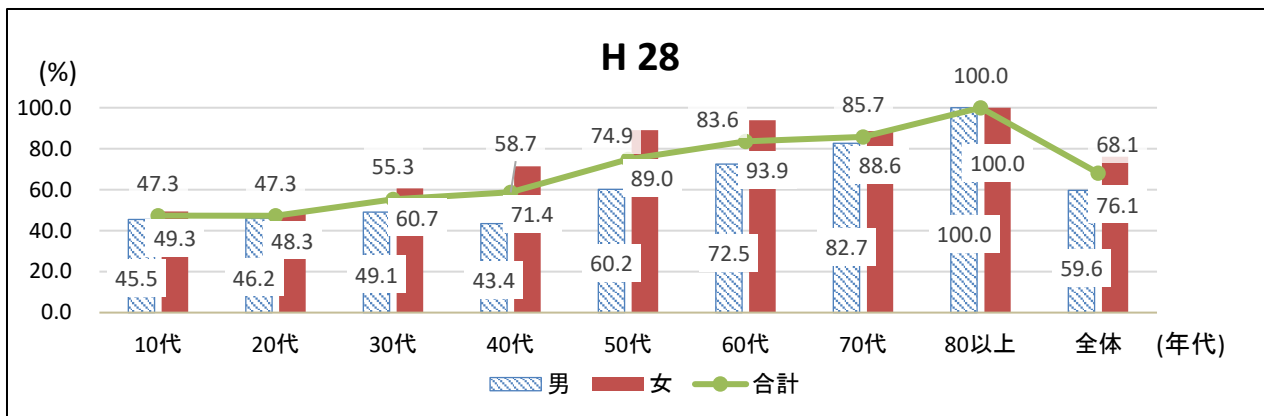
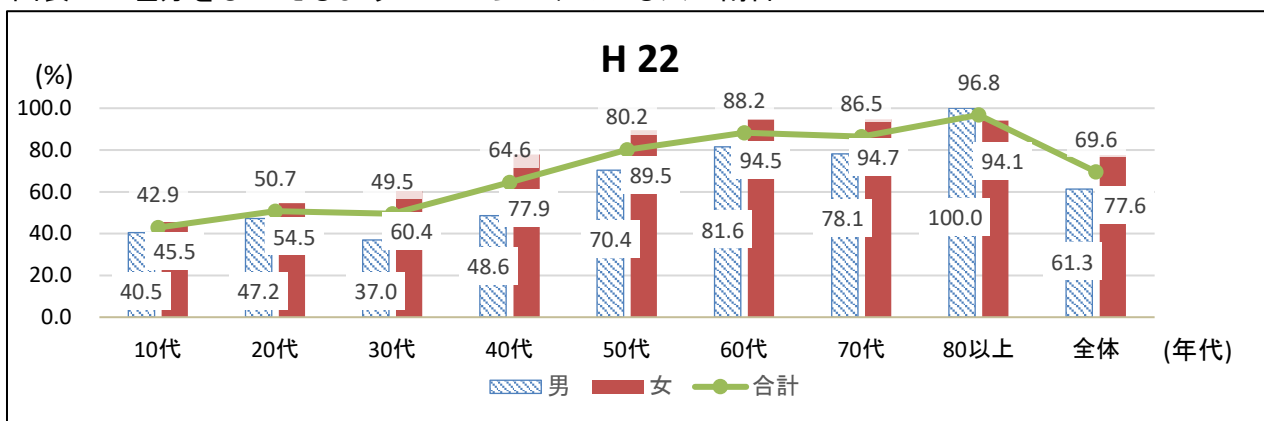
●朝ごはんを毎日食べる人の割合は増加したが、20代が低くなっている。

図表19 栄養バランスに気をつけている人の割合



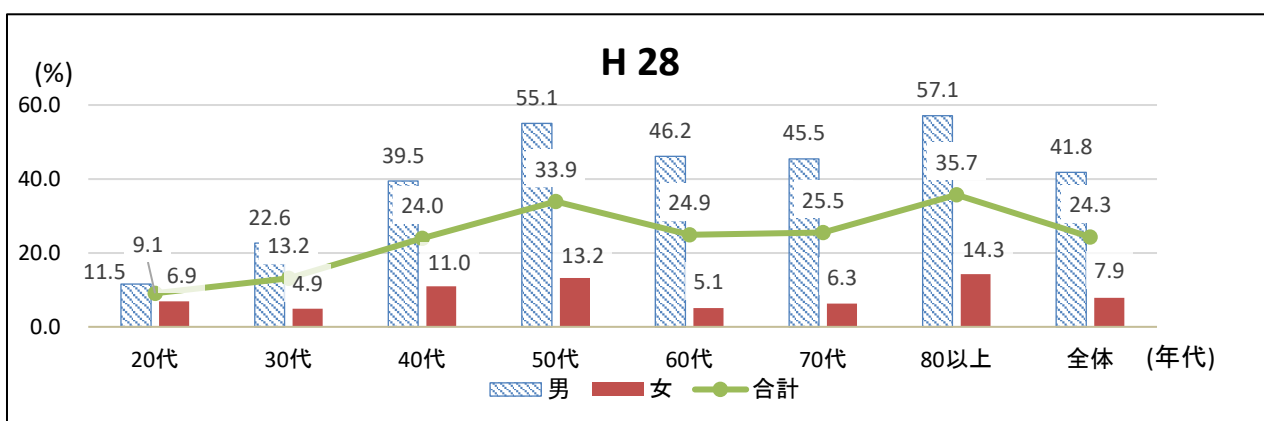
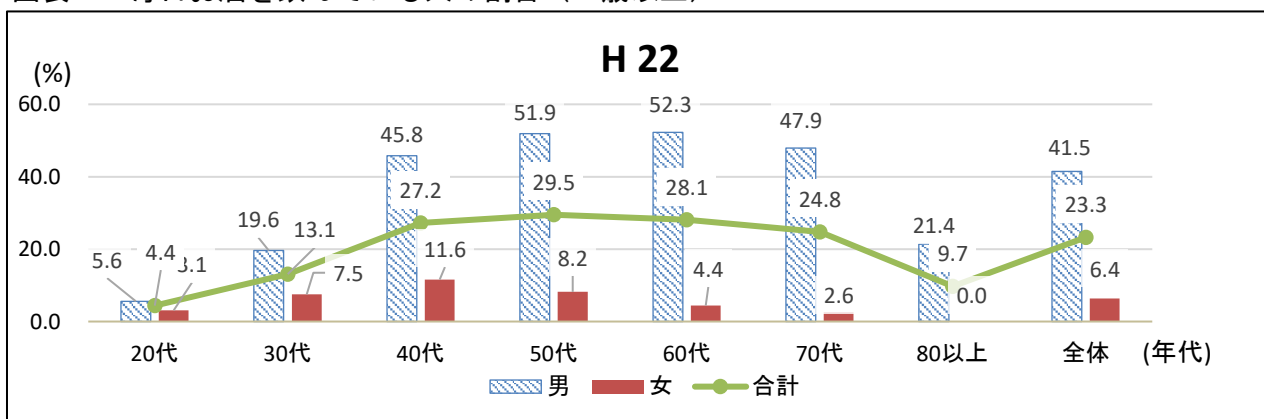
●栄養バランスに気をつける人の割合は、年代が上がるにつれて増加している。

図表20 塩分をひかえるようにこころがけている人の割合



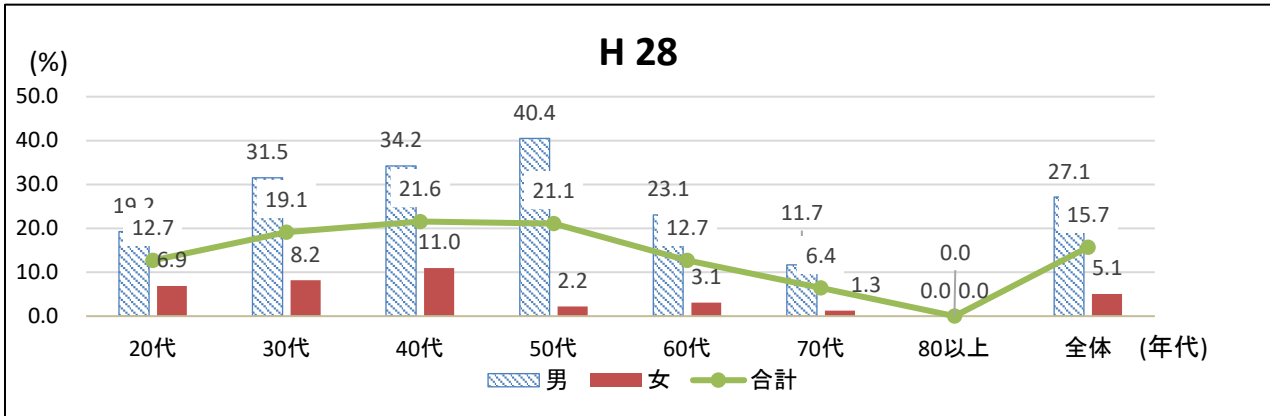
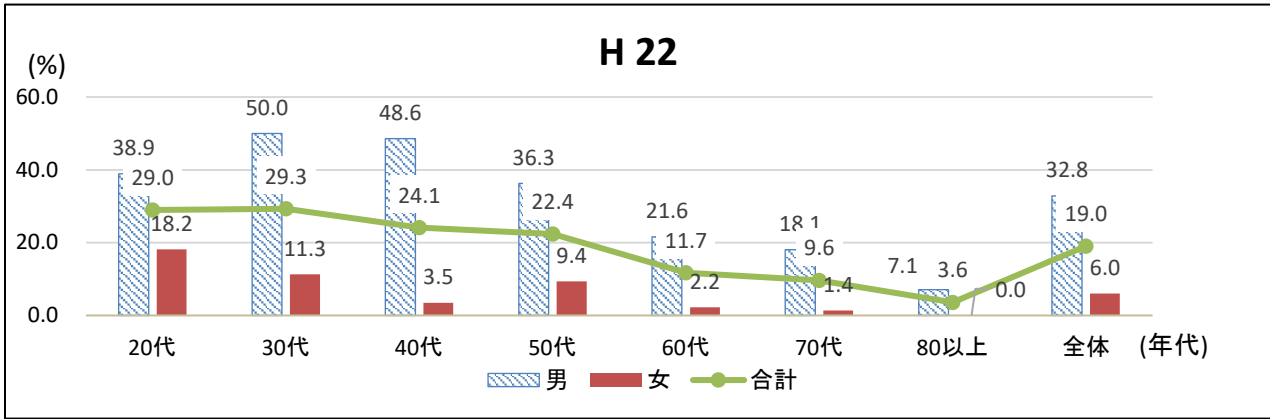
●女性に比べて男性は減塩に対する意識が低いが、年代が上がるにつれて意識が高くなる。

図表21 毎日お酒を飲んでいる人の割合（20歳以上）



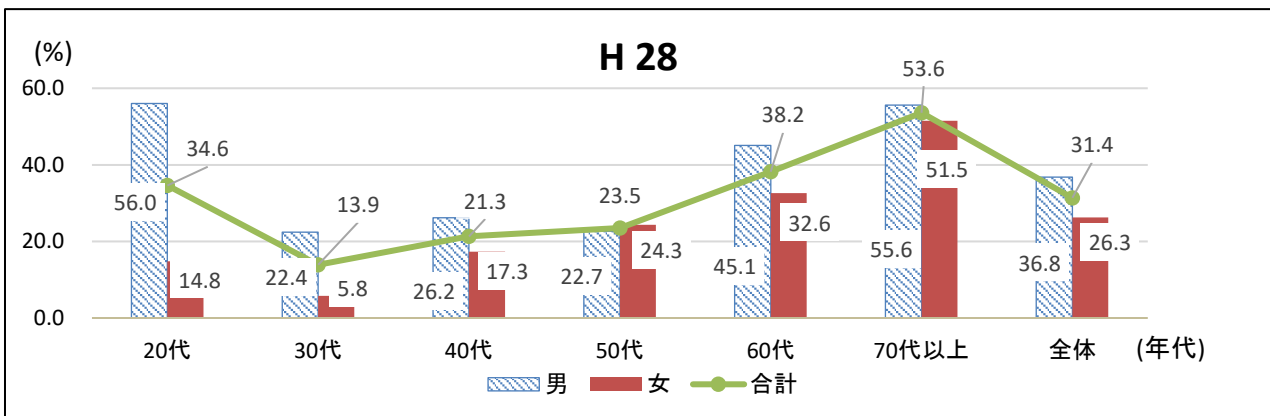
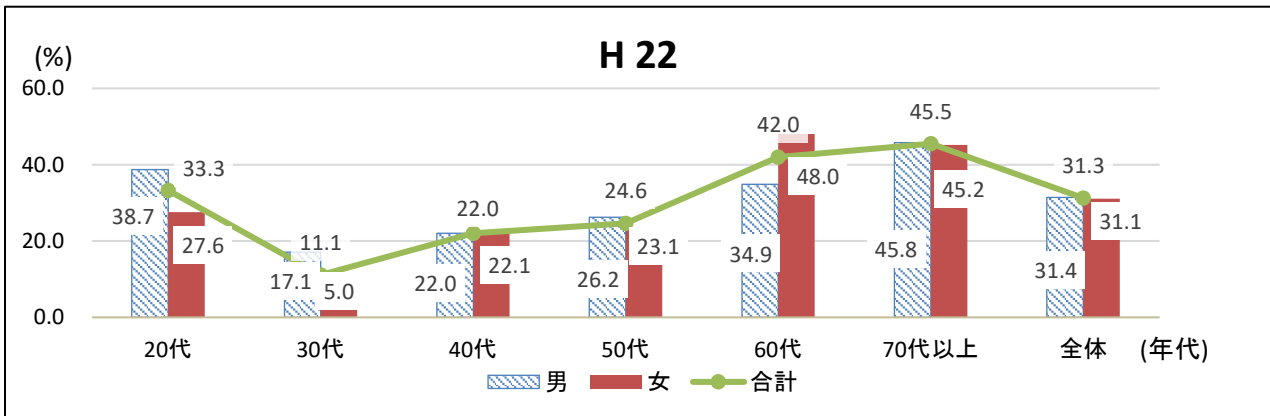
●毎日飲酒する人の割合はH22より増加。女性より男性の割合が高く、特に50代の割合が高い。

図表22 たばこを吸う人の割合（20歳以上）



●たばこを吸う人の割合は減少したが、30代から50代の喫煙が多い。

図表23 週に2回以上、1回30分以上運動をしている人の割合（20歳以上）



●1週間に2回以上運動する人は全体で増加した。  
男性は60歳以降、女性は50歳以降、運動に取り組む人が増加している。